

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4077500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム きらら2
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町3766番地1 (電話) 0994-58-5512
自己評価作成日	令和6年2月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームでは、御入居様が家庭的な雰囲気の中でくつろいで楽しく過ごして頂けるような環境作りできるように運営しております。

①御入居者様同士が親しくなる関係を築けるように毎月の行事の開催時やレクリエーションの時にスタッフが会話やコミュニケーションの橋渡しを行っています。又、歌を歌ったり歌に合わせて踊ったりすることができる環境を整備することにより脳や身体の活性化に繋がるように支援しています。

②御入居者様が出来る事を増や増やすことによって自信を持つことが出来て意欲を持って活気ある生活を送れるように支援しています。

③定期的に月2回の訪問診療にて主治医、看護師等と連携を図り、体調の異変時には定時報告書にて主治医にすぐに報告して指示を頂いております。又、理学療法士によるリハビリを月1回行って身体能力が低下しないように支援しています。

④新型コロナやインフルエンザ等の感染症の感染拡大が収まらない中、現在もご家族様との直接の面会は出来ませんが、電話やLINEのビデオ通話やリモートを介してご家族様とコミュニケーションを取れるように心がけております。難聴や眼が見えないご利用者様はご家族様とコミュニケーションがとりづらかったですので職員が間に入って会話等の橋渡しを行い、御入居者様メンタル面でのケアができるように支援しています。

⑤御入居者様からの色々な話を傾聴して、本人の意向や想いを少しでも理解できるように心がけています。又、御入居者様が気軽に冗談を言ったり、頼みごとができるような信頼関係を築いて御入居者様の気持ちに寄り添ったケアが実践出来るように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	さららの理念は事務所や廊下の壁に提示しており、職員の目に付くようにしています。理念の唱和等を定期的に行って実践できるように努めていきたいと思っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	まだ地域の方との交流を直接持つことはできませんでしたが、秋の吾平町の文化祭には、入居者様が作られた折り紙の作品や干支のちぎり絵等を展示して交流しています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域等での催し等はかなり開催されるようになりましたが、まだインフルエンザ等の感染症が収まっておらず、地域の人々との交流を持つことができませんでした。状況を確認しながら、地域の人々との交流を行いたいと思います。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はコロナやインフルエンザ等の影響もあり委員の方々に文書にて意見を頂いてさららのサービス向上に活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故報告書等の提出や介護保険の更新における訪問調査等にも積極的に現状報告等を行い情報の共有が出来るように協力関係を築けるように努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ユニット内において身体拘束の勉強会や研修等を行っており、ペーパーテスト等を行い職員の理解度の確認を行い日々のケアに生かしております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	ユニット内において虐待防止の勉強会等を行って高齢者虐待防止法等について学び、虐待事案を起こさないように防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度についてはまだ全職員には浸透しておりませんので外部の研修会等に参加して理解に努められるように努力いたします。今後、成年後見制度につきましてはユニット内で研修を行いたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前等にご家族に各契約等について詳細に説明を行い、不明な点等があればご家族が納得できるように説明を行い理解を得ています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営に関する意見やクレームは、何故そのような事案が起きたのか内容を精査し、精査した内容を管理者に報告してから全職員間で情報を共有しケア業務に活かしています。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案があれば管理者が内容を検討した後、ユニット内において情報を共有し対策等について再検討等を行っています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>ストレスチェックを毎年実施して職員のストレスの度合いを確認しています。勤務や有休等についても勤務表を作成する前に職員から希望を取り日勤・夜勤のローテーションを調整しています。職員の緊急の休みにも職員間で連携をとりながら対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や内部研修に参加できる機会を増やして勉強できる環境を整備してケア業務の質の向上に努めていきたいと思いま</p> <p>す。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の介護施設の職員や病院の職員等と交流が持てるように外部の研修会等にも積極的に参加してネットワークづくりを行い、当施設に必要な事項を取り入れていきたいと思いま</p> <p>す。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居者様が入居される前に事前に面談を行い、本人に話を伺って意向等を確認して本人と信頼関係が持てるような関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居者様が入居される前に事前に面談や電話等にてご家族の要望や本人の想い等を確認してさらに安心して委託して頂けるように関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居者様の入居後、本人や家族の意向等を傾聴して心身状態の確認や表情を観察し、本人に合ったサービスを検討してスタッフ間で情報を共有しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様との信頼関係を築くためにスタッフは本人の話や訴えを傾聴しご入居者様の気持ち寄り添ったケアを心がけるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には、月初に写真を貼付したお手紙を郵送して、ご入居者様の近況や生活状態を定期的に連絡して、ご家族様と情報を共有し、必要時にはご家族様の協力を頂きながら共に本人を支えるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居者様の知り合いから連絡があった時には積極的にコミュニケーションが取れるようにしており、ご入居者様同士が馴染みに慣れるように職員が橋渡しを行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様がホールで過ごされたり、行事や催し物の際には、ご利用者様同士がふれあい、馴染みの関係になるように声掛け等を積極的に行うように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も機会があれば他の施設等において、ご入居者様の状態の確認を行い又、ご家族様にも随時連絡を行っております。他施設への移動時には情報提供を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様より意向や訴えがあったときには傾聴し、本人が暮らしやすい環境を作れるように努めています。又、本人の意向を優先するように心がけています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居者様や御家族様や関係者等からこれまでの暮らしの様々な情報の聞き取りや情報の提供を頂いて、生活歴や生活状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	さららにおいてのご入居者様が出来ること、出来ないことを把握して出来る事が継続できるように職員間で情報を共有して精神・身体状況や残存機能等の情報の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の現状のアセスメントやモニタリングを定期的に行い、ご入居者様、ご家族様、職員等にて検討、意見交換を行った後、介護計画を作成しています。状態の変化等により修正が必要な時には都度検討を行い介護計画に反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活状況や身体や精神(認知)等の問題事項等を介護記録に記入し、情報をスタッフ間で共有しています。又気づいた点や改善点があればスタッフ間で協議して実践等に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご入居者様が必要とされるニーズが発生した場合には、その都度、管理者に報告を行い、スタッフ間にてニーズの対応策を検討し、家族とも連携して必要なサービスの多機能化等に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前からの交流の再確認や新しい地域資源の探索を行いご入居者様が充実した暮らしが送れるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が月2回訪問診療をされており、ご入居者様の要望や状態の変化等があれば、主治医に報告して、主治医の指示の元、ご家族様と連絡をとって、都度、必要な外部受診等を受けられるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>身体状態の異変時や事故発生時には看護師に相談、連携をとって速やかに対応できるように努めています。</p>			
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院の相談員等に情報を提供し、入院中は病状の経過等の情報を頂きながらご家族様とも情報を共有して退院に向けて連携をとっています。</p>			
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前にご利用者様とご家族様に重度化した時や終末期の方針の説明と確認を行い同意を頂いております。職員間でも緊急時の際の対応方法について検討しております。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルに沿って訓練を行い、緊急対応時の確認を職員間で共有しています。緊急搬送時に救急隊に提示する情報カードを作成して保管しています。事案発生時には、都度対応しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月定期的に火災時の避難訓練を実施しており、訓練時に避難方法や消防署への通報やきらら内での応援要請等の確認を職員間にて確認しています。併設事業所との合同訓練も随時行っていきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権尊重に必要な事項を職員間で気づいた事を出し合って検討を行い人権尊重の必要性を学び、ご入居者様の人格の尊重やプライバシーを損ねないように声かけができるように努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様が話される事を傾聴することにより意向等を推測、確認して思いや希望を発する事や無理なく自己決定が出来るような声かけ等を行うように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の体調や心身の状態を観察し、その日の本人のペースに合わせて無理のないように過ごすことができるように声かけや見守りを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご入居者様は女性が多く身だしなみを気にされる方が多いので本人が好まれる洋服の確認や整髪等を行いその情報はスタッフ間で共有してご利用者様の希望に沿えるように努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様が満足して頂けるように各利用者様の嗜好の確認や食事の感想や食事を残された際の理由等の確認を行い、おいしく食べて頂くようにメニューや食事の盛り付け等に工夫をするように努めています。食事前のテーブル拭きや下膳等の手伝いも頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量の確認と記録を行い、各人ご入居者様の必要な摂取量の把握に努め、摂取量が少ない時には声かけによる促しや提供方法や場所の検討を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが自己にてできるご入居者様は声掛けにて誘導し、見守りを行い、口腔内の確認を行っています。口腔ケアが自己にてできないご利用者様は職員が介助にて口腔ケアを対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご入居者様の排泄状況の確認を行い、各利用者様に合わせたトイレ誘導を行い、尿意・便意のないご利用者様は定期的な声かけやトイレ誘導を行っています。移乗時に安全確保のため二人介助にて対応もしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご入居者様の排便の確認や記録を行い各人の排便の排泄パターンを職員間で共有して、便秘時には主治医に報告して薬の処方を行っていただいで適宜対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回実施しています。入浴前にご入居者様の体調や意向の確認を行い各利用者様毎に対応しております。入浴時はゆっくり入って頂くように1対1にて対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝食や昼食後にはご入居者様の意向を確認して、居室で休んで頂いたりホールで過ごして頂いたりしています。休まれた時には環境に配慮するように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご入居者様の薬の処方に応じて適宜、服用しています。服用時には誤薬の無いように2名でご利用者様の名前と薬の用法、容量を確認してから服用して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯ものたたみやテーブル拭きや塗り絵や数字合わせ・色合わせゲーム等ご入居者様が出来る事をやっていただきやりがいを持つことにより脳の活性化や気分転換を図れるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	四季折々の季節を感じて頂けるようにドライブや催し物に行ったり、ご入居者様の希望等により散歩や散策を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者様が購入の希望があれば、ご家族様に相談を行って、外部のお店や併設の売店にて購入されたりすることもあり適宜対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご入居者様にご家族様等に電話をかけて声を聞きたいとの希望があれば職員が連絡を行い希望に沿うように努めています。又、手紙を書かれた際には職員が手紙を投函したり確認をとるように努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール等の共用空間に季節ごとに季節感のある展示物を飾ってご入居者様に季節を感じて頂くように努めています。又、照明や空調の調整を適時行って過ごしやすく居心地の良い空間造りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにおいて各ご入居者様が過ごされるとき表情や行動を観察して、必要があれば、ホールでの座席やテーブルの位置を調整してご利用者が気軽に交流や過ごすことができるように努めています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はご入居者様が1人でくつろいでゆったりと過ごすことが出来る空間ですので、ご入居者様が慣れ親しんだ私物などを御家族様に相談し持ってきていただいて居心地の良いリラックスできる空間作りに努めています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご入居者様の「できること」や「わかること」を職員間で共有し、各ご入居者様が自己にて活動しやすいように、建物内部の導線等の環境整備や見守りを行うように努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない